

完成予想図



社会福祉法人 よいち福祉会 施設本体建設工事に着手

《仮称》積丹町地域密着型特別養護老人ホーム

1 施設の概要

【施設名称】：(仮) 積丹町地域密着型特別養護老人ホーム
 【設置主体】：社会福祉法人 よいち福祉会
 【建設予定地】：美国町字大沢 326 番 1 の一部 他
 【施設種別】：地域密着型特別養護老人ホーム（※サテライト型）
 【入所定員】：29名
 【施設開設】：平成28年4月

2 建物の概要

【敷地面積】：4,412㎡
 【敷地所有者】：積丹町
 【延床面積】：1,450.78㎡
 【居室面積】：13.2㎡（1室あたり）
 【建築構造】：鉄筋コンクリート造
 【階数】：平屋建

※サテライト型：余市町の施設と「本店と支店」の関係のことで。

【表1】事業実施予定期間（H27 実施分）

(1) 事業実施主体	H27						H28				
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
よいち福祉会											
外構整備工事	←	→									←
建物本体工事	←	→									←
(2) 事業実施主体	H27						H28				
積丹町	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
外構関連整備工事	←	→									←

【表2】計画事業費等（H27～H28）の状況（見込）

① 事業費（7月17日現在）

（単位：千円）

区分	※実行計画	
	H27	※H28
1 基本設計費	1,296	0
2 実施設計費	23,547	0
3 建築工事費	594,000	0
4 外構工事費	19,547	38,390
5 工事監理費	9,755	0
6 備品購入費	48,326	0
7 運転資金	20,000	0
8 開設消耗品等	(未定)	(未定)
合計	716,471	38,390

② 資金計画（7月17日現在）

（単位：千円）

区分	※実行計画	
	H27	※H28
1 道交付金	151,745	0
2 町補助金 (過疎対策事業債)	523,057	14,700
3 町一般財源	11,037	23,690
4 法人（自己資金）	30,632	0
合計	716,471	38,390

※H28 実行計画の数値は、今後見直しの可能性もあります。

来年度開設へ事業が前進

平成22年5月、積丹町命と健康を守る会（1,904名の署名）から町議会に提出された陳情書が3年3カ月に及ぶ審議を経て、平成25年8月28日採択されました。これを受けた町の建設誘致運動に応え、社会福祉法人よいち福祉会（余市町・亀尾毅理事長）が施設建設と運営を行う、「積丹町地域密着型特別養護老人ホーム建設構想」の実現に向け、去る4月と6月の議会で建物設計費や敷地造成工事費などに対する同法人への町費助成措置を講じる一方、国（道）補助金と町費補助金の財源となる過疎対策事業債の特別枠の確保運動のほか、多くの事務手続きや準備工事などの対応に取り組んできました。

また、当町との地域連携機能として「浴場」と「公園用トイレ」が併設されることになりました。去る7月23日の町議会では、道（国）からの介護サービス提供基盤等整備事業費交付金の内示を受けて、同法人が実施する施設本体工事費や工事監理費等の町費助成について補正予算措置を行い、7月28日には建設工事請負業者選定の入札を実施し、8月上旬から施設本体の工事に着手することになりました。

建設に必要な「3枚の切符」

「町長室」出前懇談会や議会で町長が訴えてきた施設建設誘致構想実現の必須要件は、「町ぐるみでの建設誘致運動」と「3枚の切符」を獲得することでした。1つ目の第6期後志広域連合介護保険事業計画への登載は2月10日に登載決定し、2つ目の道からの交付金は7月10日付で内示がありました。3つ目の過疎対策事業債の必要枠の確保についても、施設完成までの要望運動に取り組ん

でいます。

町の財政支援は？

同施設の建設に町から約5億円の財政支援を行うこととしました。その理由の一つとして、国の平成27年度予算編成で社会保障費の抑制のため、介護報酬を引き下げの方針が決定しました。これにより、全国の介護事業者は今後の経営に厳しさを増し、介護職員の人材確保など安定した施設運営への危機感を募らせています。従って、町では同施設の建設誘致に当たって、町が自ら建設し、運営した場合を想定して、誘致した介護

事業者が将来にわたって安定した施設運営が出来るよう、施設建設時の法人の財政負担が出来るだけ軽減される地元自治体の支援が欠かせないと考えました。そして、施設建設に係る町費補助金の財源については、国の平成27年度の新たな地方創生特別枠の過疎対策事業債（民間福祉施設建設補助金充当・元利償還金7割が交付税措置）の採択に努力し、町の将来的な財政運営に特に配慮することとしました。引き続き、「町ぐるみで迎える当町初の老人ホーム完成」に向けて、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

『「町長室」出前懇談会』以降の経過

- 2月10日 第6期後志広域連合介護保険事業計画に登載決定。
- 4月24日 道交付金の申請に必要な、「建物建設実施設計」費用に町費助成補正予算を第2回町議会臨時会で議決。
- 4月30日 よいち福祉会へ「施設建設整備構想支援要請」に対する回答（町長・議長・副議長訪問）。
- 5月15日 よいち福祉会が設計事務所に委託し、「積丹町地域密着型特別養護老人ホーム建設実施設計」に着手。
- 6月下旬 よいち福祉会が建物実施設計委託業務を進め、町を経由して、道の介護サービス提供基盤等整備事業費交付金計画書の審査、町費補助金財源の過疎対策事業債適債協議などの事務手続き。
- 6月25日 第2回町議会定例会で、よいち福祉会が実施する建設予定地の整地や障害物除去等、本年度分の外構整備

- に要する経費に対する町費助成と、町が実施する同関連工事費の補正予算措置。町有地無償貸付を議決。
- 7月上旬 よいち福祉会が7月13日に外構整備工事に着手。また、町が7月8日に水飲場移設・照明移設等の同関連工事に着手。
- 7月9日 同施設の整備事業計画説明会を、亀尾毅理事長外よいち福祉会3名、松井町長と関係課職員が出席して総合文化センターで開催。
- 7月23日 7月10日付で道から介護サービス提供基盤等整備事業費交付金の内示を受け、第3回町議会臨時会で、よいち福祉会実施の施設本体建設工事費等に要する経費への町費助成補正予算措置を議決。
- 7月28日 よいち福祉会が建物建設工事請負業者選定の一般競争入札を実施。